

令和4年度【家庭科】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

学年	課題の分析	授業改善の視点	成長と課題
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活は身近な課題の分野のため衣服に興味・関心をもち授業に取り組む生徒が多い。基礎的な知識の習得ができていない生徒が多いが、発展的な問題や応用力を求められる課題には苦手意識をもつ生徒が少なくない。基礎的な技術の習得やミシンなどの道具の扱いに不慣れな生徒も若干いる。 ・ワークシートやノートの課題や作品作りで、習得した知識・技能を活用し、更に工夫しようとする生徒が多かった。その先に課題を見つけ考察し、発展させたことをレポートにまとめて発表し合う課題には消極的になってしまう生徒が少なくなかった。 ・習得した衣生活・住生活の知識や技能を家庭生活で活用し、体験学習の機会をもつ生徒とまたない生徒とは知識・技能の定着に差がでてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能を確実に定着させ、更に応用、発展させるためにICTを活用し、例題を数多く引用して考察できる授業を工夫する。また、動画を活用し、衣服の手入れ方法やミシンなどの道具の扱い方や手順などを説明し、知識・技能の定着を図る。 ・習得した知識・技能を生活の中で活かせる身近な課題に取り組みませ、その結果をそれぞれが考え整理し、レポートやワークシートにまとめ、それを基に発表したり話し合う機会を増やし、互いに創造力や発想力、表現力を広げられるように指導する。 ・家庭生活で活用できる課題を取り入れ、裁縫や調理器具の扱い方、洗濯実習などの体験の場を増やし、基礎的な知識、技能の定着と向上を図っていく。 	<p>年度末に記入</p>
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・成長期と健康な体づくりに食事の果たす役割の大切さを理解し、関心をもち学習に取り組む生徒が多い。コロナ禍で調理実習が難しいため、家庭で行える調理の課題を設定し、基礎的な技能の定着を図っているが、取り組み方に差があり技術差がでてしまう。 ・基礎的な知識や技能を理解できている生徒が多いが、献立作成など知識を応用して組み立てる課題には消極的になってしまう生徒が少なくない。 ・成長期である自分たちの毎日の食事に、栄養素についての知識を活かして健康な体づくりを心がけようと意識する生徒が増えたが、技術を活かして調理などの機会をもとうとする生徒は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの動画を活用し、調理手順や野菜の切り方などの基礎技能、調理用具の扱い方などを理解させる。また、長期休業中などを利用し食品や調理器具の扱いに慣れ、食品の選択、献立の立て方、調理に挑戦するなど作業経験の場を増やし技能の向上を図る。 ・ICTを活用し献立の組み合わせ方など例題を数多く用いて説明する。グループで作成し発表し合う活動を行い、知識・技能の定着を図り、更に工夫・応用・発展できる能力を育てる。 ・習得した知識や技能を活用できる生活の中の課題を設定し、調べ学習や調理などの体験学習に取り組ませ、知識力や技術力を定着させ、更に工夫・応用・発展できる能力を育てる。 	<p>年度末に記入</p>

<p>3年生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児の生活と家族」の分野では、自分の幼い頃を振り返りながら学習を進めるので、興味をもち学習に取り込む生徒が多いが、身近に幼児と触れ合う機会をもてる生徒は少ない。 「消費生活」の分野では、生活に必要な知識を理解しようと関心をもち意欲的に学ぶ生徒が増えた。 ・幼児のおもちゃの製作やワークシートの課題に意欲的に取り組み、工夫を凝らし製作しようとする生徒が多い。表現力や発想力、技術力を出し切れず、各自が目指す完成形に到達できなかった生徒も少数いる。 ・「成長と家族と地域」の学習では、支えられる立場から支える立場への自立と共生の力を養うことの大切さを学び、家庭や地域の仕事に参加したいと思う生徒は増えたが、その機会を実際にもてる生徒は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの動画などを活用し、幼児の年齢ごとの心身の発達や生活の様子を理解させ、意欲・関心を高め知識の定着を図る。 消費生活ではキャッシュレス時代の購入方法や支払方法、詐欺被害についての法律など広い範囲の学習で知識の習得を図る。 ・幼児についての調べ学習や製作した作品を発表し鑑賞し合う学習を取り入れ、相互に考察し、表現力や思考力、発想力を高める指導を行う。 ・家族や地域の人々に支えられてきたことを再認識し、家庭や地域の仕事に積極的に参加し協働するよう促す指導を行う。協働した経験をまとめ発表し合い、互いに実践するために必要な知識や技能を高めさせる。 	<p>年度末に記入</p>
------------	--	--	---------------